

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域での行事や散歩の際に関わりを持つ機会があるが、実際にどんな施設なのか？と聞かれることがあり、グループホーム・認知症の理解を深めていただけていない。	日々のふれあいの中で、認知症の理解を深めて貰う。	年1回の認知症サポーター講座の開催と、あわせて、グループホームの説明を行う。	3ヶ月
2	26	ケアに関して職員それぞれが利用者のためにと考えているが、その実践にあたり思い・考えの共有が出来ているとは言い難い。	利用者にとって、どうするのが良いか・どのようなケアがよいのか 些細なことでも共有し、同じ方向性を持った、統一したケアが出来るようにする。	些細なことでも、申し送り情報を共有する。カンファレンスの場で意見を出し合えるように、一人ずつ意見を聞く。また、参加できない職員には、事前に書面での意見や聞き取りを行い、収集する。	2ヶ月
3	4	運営推進会議で出た意見を反映させた取り組みを順次行っているが、報告の場が議事録上でしかない為、取り組みとしての認識を得にくい。	頂いた意見を反映した取り組みを行っている、意見を生かしていることを知っていただき、さらに会議での活発な意見交換をしていただけるように働きかける。	年6回程度のGH便りに、運営推進会議で頂いた意見を記載し、現在どのように取り組んでいるかを掲載していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。